

入学者受け入れ方針(アドミッション・ポリシー) 博士前期課程・修士課程

【大学院 アドミッションポリシー】

東京農業大学大学院は、農学あるいは生物産業学に対する深い理解の上に、研究者として協調性を有しながらも自立し、専門分野における基礎的または高度な問題を自立的に解決できる人材を育成します。このために、本大学院では次のような学生を求めています。

博士前期課程・修士課程	<ul style="list-style-type: none"> (1) 希望する専攻分野における四年制大学修了程度の学力を有している。 (2) 国内外における科学・技術を理解するための語学力を有している。 (3) 豊かな学びと人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。 (4) 希望する専攻分野に対する強い関心、研究者あるいは専門家として社会に貢献しようとする明確な問題意識、学修に対する強い意欲を有している。
--------------------	--

【研究科 アドミッションポリシー】

農学研究科	<p>農学研究科博士前期課程は、農学に対する深い理解の上に、専門分野における基礎的な問題を自立的に解決できる人材を育成します。そのため、本研究科では次のような学生を求めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 農学の当該専攻分野における学修が可能な四年制大学修了程度の学力を有している。 (2) 国内外における学修や研究活動を可能にする基本的な語学力を有している。 (3) 豊かな学びと人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。 (4) 当該専攻分野に対する強い関心、研究者、教育者あるいは専門家として社会に貢献しようとする明確な問題意識と学修に対する強い意欲を有している。
--------------	---

応用生物科学研究科	<p>応用生物科学研究科博士前期課程は、応用生物学に関連した広域の農学研究を展開し、問題の解決に向けた柔軟な判断力・遂行能力を有する人材を育成します。そのため、本研究科では次のような学生を求めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 応用生物学の当該専攻分野における学修が可能な四年制大学修了程度の学力を有している。 (2) 国内外における学修や研究活動を可能にする基本的な語学力を有している。 (3) 豊かな学びと人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。 (4) 当該専攻分野に対する強い関心、研究者、教育者あるいは専門家として社会に貢献しようとする明確な問題意識と学修に対する強い意欲を有している。
------------------	--

生命科学研究所	<p>生命科学研究所博士前期課程・修士課程は、生命科学に関連した広域の農学研究を展開し、問題の解決に向けた柔軟な判断力・遂行能力を有する人材を育成します。そのため、本研究科では次のような学生を求めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 生命科学の当該専攻分野における学修が可能な四年制大学修了程度の学力を有している。 (2) 既修の知識をもとに、さらに専門性を深めようとする強い意欲を有している。 (3) 継続的に自ら問題を見つけ出し、その解決に貢献しようとする意欲を有している。 (4) 広い視野、豊かな人間力、倫理観、コミュニケーション力を持ち、他と協力してそれを高めようとする意欲を有している。
----------------	---

地域環境科学研究科	<p>地域環境科学研究科博士前期課程・修士課程は、生活環境、地域環境、地球環境に関する幅広い知識と理解力を有し、様々な環境問題の具体的な解決方法を考究できる、また持続可能な地域づくりを推進できる高度専門人材の養成を目指している。そのため、次のような学生を求めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 環境問題、環境共生型・循環型地域づくり、地球環境と生物資源の保全・利用・管理に関する4年制大学卒業程度の知識を有している。 (2) 環境に関する諸問題の解決に必要な探究心と柔軟な思考力を有している。 (3) 問題解決に向けて自らチャレンジする意欲を有している。 (4) 他社との協働に必要なコミュニケーション能力や表現力を有している。
------------------	---

国際食料農業科学研究科	<p>国際食料農業科学研究科博士前期課程・修士課程は、「実学主義」に基づいて農学・食品科学及び経済学・経営学・人文科学にわたる総合的なアプローチにより、食料・農業・環境領域での各国・地域の特性を活かした発展の実現に向けた課題の解決に取り組める国際的人材を育成します。そのため、本研究科では次のような学生を求めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 食料農業科学とその国際的実践に関連した当該専攻分野における学修が可能な4年制大学卒業程度の学力を有している。 (2) 国内外のフィールドにおける学修や研究活動を可能にする基本的な語学力を有している。 (3) 豊かな学びと人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。 (4) 当該専攻分野に対する強い関心、研究者、教育者あるいは専門家として国際的視野に立って社会に貢献しようとする明確な問題意識と学修に対する強い意欲を有している。
--------------------	--

生物産業学研究所	<p>生物産業学研究所博士前期課程は、生物資源・自然資源の宝庫であるオホーツク地域での実践的な教育研究により、原料生産はもとより加工や流通・ビジネスの分野において社会に貢献できる人材を養成します。そのため、本研究科では、次のような学生を求めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 生物産業学の当該専攻における学修が可能となる四年制大学卒業程度の学力を有している。 (2) 国内外における科学・技術を理解するための語学力を有している。 (3) 豊かな学びと人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。 (4) 当該専攻分野に対する強い関心、研究者、教育者あるいは専門家として社会に貢献しようとする明確な問題意識、学修に対する強い意欲を有している。
-----------------	--

入学者受け入れ方針(アドミッション・ポリシー) 博士前期課程・修士課程

【専攻 アドミッションポリシー】

<p>農学</p>	<p>農学専攻博士前期課程は、作物、育種、植物病理、昆虫、園芸作物、バイオテクノロジー、ポストハーベストなどの農学全般に関する基礎学力を有し、明確な目的意識と探求心をもって研究を進めようとする人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 農学全般にかかわる学修が可能な四年制大学修了程度の学力を有している。 (2) 国内外における学修や研究活動を可能にする基本的な語学力を有している。 (3) 周囲との協調性を保つコミュニケーション能力とともに、研究室内での指導性を発揮できる能力を有している。 (4) 農学全般およびそれぞれの専門分野において、研究者、教育者あるいは専門技術者として社会に貢献しようとする明確な問題意識と学修に対する強い意欲を有している。</p>
<p>動物科学</p>	<p>動物科学専攻博士前期課程は、動物生命・生産科学の本質を理解し、関連する最先端技術と知識を獲得し、基礎的問題を自立的に解決できる人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 畜産・動物科学分野における学修が可能な四年制大学修了程度の学力を有している。 (2) 動物や動物関連産業に興味を持ち、生命・生産科学に関する高次元な知識・技能の獲得に関する強い意欲がある。 (3) 科学に対する探求心と自ら行動する意欲を有している。 (4) 科学で得た知識をもとに、社会に正しく大きく貢献することに強い意欲がある。</p>
<p>バイオセラピー学</p>	<p>バイオセラピー学専攻博士前期課程は、持続的な社会のあり方を提言できる豊かな感性と問題解決能力を獲得し、社会の現場で実務的役割を果たす知的リーダーとなる人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。</p> <p>(1) バイオセラピー学分野における学修が可能な四年制大学修了程度の学力を有している。 (2) 農学を基盤とした動植物または人の健康や福祉に関する専門知識を有している。 (3) バイオセラピー学分野で得られた知識と技術をもとに、環境・福祉農学の新たな時代を切り拓く意欲がある。</p>
<p>農芸化学</p>	<p>農芸化学専攻博士前期課程では、研究課題を多面的に捉え、新たな発想を積極的に研究に取り入れることにより、人類の生活にかかわる課題を農芸化学的アプローチにより解決するための科学的解析能力、論理的展開能力を備える人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 農芸化学の諸分野における学修が可能な四年制大学修了程度の学力を有している。 (2) 農芸化学の諸分野における学修や研究活動を可能にする基本的な語学力を有している。 (3) 農芸化学の諸分野における学修や研究活動を可能にするコミュニケーション能力を有している。 (4) 農芸化学の諸分野に対する強い関心を持ち、食・健康・環境に関わる様々な現象の解明にチャレンジする高い意欲がある。</p>
<p>醸造学</p>	<p>醸造学専攻博士前期課程は、醸造学に対する深い理解の上に、専門分野における基礎的な問題を自立的に解決できる人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 醸造産業をはじめとする微生物利用産業に興味を有している。 (2) 微生物学または化学的な研究能力の向上に意欲的であり、微生物や発酵を利用した食品、医薬品、化学工業、環境関連産業等の発展に専門職業人として貢献する意欲を有している。 (3) 酒類生産学、発酵食品学、醸造微生物学、醸造環境科学などの専門分野に関する研究に熱意を持って取り組むことができる。</p>
<p>食品安全健康学</p>	<p>食品安全健康学専攻博士前期課程は、生命に直結する「食品の安全性」と「食品の機能性」に興味を持ち、それに関する極めて難解な課題を、必ず論理的かつ科学的に解決するという高い意欲を有し、将来、食品関連などの技術者・研究者・教育者・行政官などとして指導的立場で社会に貢献したいとする強い意志をもった人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 「食品の安全性」と「食品の機能性」に対し普段から高い関心を持ち、未解決の難題に対し、自らが主体となり解決したいという強い意欲を有している。 (2) 実験研究に興味があり、自らが主体となってその研究を実施する能力を有し、得られた成果を社会に向けて発信し、貢献したいという意欲を有している。 (3) 主観的思考にとらわれず、実験等により得られた結果などを客観的事実として受け入れることにより、事象を的確かつ冷静に判断することができる。</p>
<p>食品栄養学</p>	<p>食品栄養学専攻博士前期課程は、本学院および本研究科の教育目標に基づき、ヒトの健康維持・増進および疾病予防・改善に向けた食品学および栄養学領域を統合した食品栄養学に関連する広範かつ確かな学識を獲得し、高度な専門職業人として食品栄養学周辺領域の人とも協同し、社会で活躍できる人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 管理栄養士の有資格者に加え、食品学や栄養学分野における学修が可能な四年制大学修了程度の学力を有している。 (2) 人の健康づくりにかかわる食品の研究、健常者・傷病者の食生活や栄養状態の改善に関する研究に強い意欲がある。 (3) 研究や行政、教育、医療分野などで高度な専門職業人として貢献する志を有している。 (4) 豊かな人間関係を構築するためのコミュニケーション能力を有している。</p>

入学者受け入れ方針(アドミッション・ポリシー) 博士前期課程・修士課程

【専攻 アドミッションポリシー】	
バイオサイエンス	<p>バイオサイエンス専攻博士前期課程では、生命現象の本質に対する深い理解の上に、最先端技術・知識を獲得し生命科学分野における基礎的問題を自立的に解決できる人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 生命科学分野における学修が可能な四年制大学修了程度の学力を有している。 (2) 国内外における学修や研究活動を可能にする基本的な語学力を有している。 (3) 豊かな学びと人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。 (4) 生命科学分野に対する強い関心、研究者など専門職者として社会に貢献しようとする明確な問題意識と学修に対する強い意欲を有している。</p>
分子生命化学	<p>分子生命化学専攻修士課程では、様々な現象に対する論理性・客観性に基づいた科学的判断が可能であり、倫理観に裏付けされた研究意欲を持ち、農学・生命科学領域における問題を自立的に解決できる人材の育成を目指します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 化学を中心とする伝統的の科学に興味と学習意欲があり、生命科学分野への応用を考えている。 (2) 農学・生命科学領域の科学・技術に関心があり、本質を捉えた学びを希望している。 (3) 現在人間の生活圏に様々な問題に対し、普遍的な思考・技術体系に従って抜本的な解決を与えようと考えている。</p>
分子微生物学	<p>分子微生物学専攻修士課程は、生命現象の本質に対する深い理解の上に、最先端技術・知識を獲得し、分子微生物学分野に期待される近未来的な問題を解決できる人材を育成します。そのため本専攻では次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 生命科学分野における学修が可能な四年制大学修了程度の学力を有している。 (2) 国内外における学修や研究活動を可能にする基本的な語学力を有している。 (3) 現豊かな学びと人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。 (4) 現微生物学分野に対する強い関心、研究者など専門職者として社会に貢献しようとする明確な問題意識と学修に対する強い意欲を有している。</p>
林学	<p>林学専攻博士前期課程は、森林・林業・林産業・農山村に関する高度な知識と研究能力、管理能力を持ち、循環型社会の形成に関する問題設定・解決能力を備えた人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 森林、林学、林産学、農山村に関する専門領域において、4年制大学卒業程度の基礎的な学力を有している。 (2) 森林の保全と多面的機能の高度利用、生物多様性の保全や循環型社会の形成に関する問題設定・解決能力を修得することに強い意欲を有している。</p>
農業工学	<p>農業工学専攻博士前期課程は、農業工学に対する深い理解の上に、専門分野における基礎的な問題を自立的に解決できる人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 地球環境に配慮して、食料生産の基盤づくりに寄与する農業工学に興味を有している。 (2) 農業工学の専門領域において、4年制大学卒業程度の基礎的な知識・技術を有し、持続可能な社会の構築を目指し、地域資源の有効利用と循環型社会の構築に技術者として貢献したいという強い意欲を有している。 (3) 地域資源利用学、生産環境・計画学、施設工学、農業生産システム工学における専門分野に関する研究に熱意を持って取り組むことができる。</p>
造園学	<p>造園学専攻博士前期課程では、造園学に対する興味と意欲を有し、都市から自然地域における快適環境をもたらすための知識と課題解決能力をもって研究を推進できる人材を育成する。そのため、本専攻では次のような学生を求めている。</p> <p>(1) 造園学関連分野の学修が可能な4年制大学卒業程度の学力を有している。 (2) 国内外における学修や、研究活動を実施する上での基本的な語学・文章・表現力を有している。 (3) 協調性やコミュニケーション能力を有するとともに、研究環境でのリーダー性を発揮できる能力を有している。 (4) 研究者、教育者、技術者として豊かな地域社会と社会資本の形成に貢献しようとする明確な問題意識と、学修に対する強い意欲を有している。</p>
地域創成科学	<p>地域創成科学専攻修士課程では、農山村地域が抱える課題を解決し農山村地域を再生するために、地域創成科学に関する専門知識と研究能力を身に付け、地域社会のリーダーとなる人材を育成する。そのため、本専攻では以下のような人材を求めている。</p> <p>(1) 自然再生と地域マネジメントに関する専門領域について、4年制大学卒業程度の基礎学力を有する者。 (2) 農山村地域が抱える課題の解決に貢献しようとする強い意欲を有する者。</p>

入学者受け入れ方針(アドミッション・ポリシー) 博士前期課程・修士課程

【専攻 アドミッションポリシー】

<p>国際農業開発学</p>	<p>国際農業開発学専攻博士前期課程では、問題の解決を図るための論理的思考力と実践力、さらには異なる文化や習慣を理解し、農業開発及び国際協力などの分野ならびに国際社会の発展に貢献できる高度な専門家・研究者の養成を目指します。そのため、本専攻では以下のような学生を求めています。</p> <p>(1) 国内外の農業開発、国際協力、環境問題に興味を持っている。 (2) 自然科学と社会科学の両領域にわたる基礎的な知識のレベル(4年制大学卒業程度)と、今後の知識修得への意欲を有している。 (3) 異なる文化や社会に適応し、それらの場で十分なコミュニケーションをとることができる素質を有している (4) 国際協力の経験や社会人としての経験があり、それらの経験が本専攻の教育目標に合致している。</p>
<p>農業経済学</p>	<p>農業経済学専攻博士前期課程は、農業経済学に対する深い理解の上に、専門分野における基礎的な問題を自立的に解決できる人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 経済学に関する4年制大学卒業程度の基本的な学力を有している。 (2) 専門領域における知識や研究方法の基本的な学力を有している。 (3) 日本人は英語、外国人は日本語の基本的な語学力を有している。 (4) 食料問題、農業問題、環境問題に強い関心を持ち、社会科学の方法によって問題解決に貢献しようとする強い意欲を有している。</p>
<p>国際アグリビジネス学</p>	<p>国際アグリビジネス学専攻博士前期課程は、アグリビジネス学に対する深い理解の上に、専門分野における基礎的な問題を自立的に解決できる人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 一定の語学力と国内外のアグリビジネスに対する基礎知識を有している(4年制大学卒業程度)。 (2) アグリビジネスの持続的発展への貢献に強い意欲を有している。 (3) 国際的なコミュニケーション能力の向上を目指している。</p>
<p>国際食農科学</p>	<p>国際食農科学専攻修士課程は、国際食農科学に対する深い理解の上に、専門分野における基礎的な問題を自立的に解決できる人材を育成します。そのため、本研究科では次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 国際食農科学の当該分野における学修が可能な4年制大学卒業程度の学力を有している。 (2) 国内外における学修や研究活動を可能にする基本的な語学力を有している。 (3) 豊かな学びと人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。 (4) 国際食農科学の発展への貢献に強い関心、研究者、教育者あるいは専門家として社会に貢献しようとする明確な問題意識と学修に対する強い意欲を有している。</p>
<p>生物生産学</p>	<p>生物生産学専攻博士前期課程は、北方圏の動植物資源の利用と生物資源の開発、北方圏生態系の保全、それらを活用する先進的なバイオテクノロジーを題材とする実践的な教育研究により、自然と調和した持続的な循環社会の発展や生活の質の向上に貢献できる人材を養成します。そのため、本専攻では、次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 生物生産学における学修が可能となる四年制大学卒業程度の学力を有している。 (2) 国内外における生物生産関連分野の知見を理解するための語学力と、研究を記述するための基礎的な文章表現力を有している。 (3) 実験や調査などの日々の研究活動において、研究室の仲間や共同研究者あるいは地域の人々と和して協力する姿勢と、それを可能にするコミュニケーション能力を有している。 (4) 北方圏における生物生産を題材とする本専攻の特色を理解し、自然に対する科学的探究心と学修意欲を有し、研究者、教育者あるいは専門家として社会に貢献しようとする明確な問題意識と問題解決に向けた強い意欲を有している。</p>
<p>アクアバイオ学</p>	<p>アクアバイオ学専攻博士前期課程は、水産資源の宝庫であるオホーツク水圏での実践的な教育研究により、水圏の生物学、生態学および環境学に基づき、水産資源生物の保全や増養殖の分野において社会に貢献できる人材を養成します。そのため、本専攻では、次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 本専攻における学修が可能となる水産系四年制大学卒業程度の専門科目に関する基礎学力およびその応用能力を有している。 (2) 国内外における科学・技術を理解するための語学力と、専門領域における最新の知見を自ら積極的に得る努力ができる能力を有している。 (3) 豊かな学びと人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力と自らの意志を適切に表現できる能力を有している。 (4) 水圏における生物や生態系、これを取りまく環境などに対する強い関心を有し、本専攻分野の研究者、教育者あるいは専門家として社会に貢献しようとする明確な問題意識、学修に対する強い意欲を有している。</p>

入学者受け入れ方針(アドミッション・ポリシー) 博士前期課程・修士課程

【専攻 アドミッションポリシー】

<p>食品香粧学</p>	<p>食品香粧学専攻博士前期課程は、北海道の豊かな生物資源を利用して社会全体のQOL(生活の質)を向上させることを目的とし、食品や香粧品に関する基礎研究と製造・開発、さらにそれらの安全性の検証に挑戦できる人材を養成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 研究および開発を行うにあたり、自ら積極的に行動するという意欲を有している。 (2) 問題意識をもって研究を計画し、研究成果を論理的に考察して自分の考えをまとめ、適切に他者に伝える能力を有している。 (3) 食品香粧学を学び、研究を行うにあたり、有機化学、食品化学、香粧品科学、生物科学、微生物学等において、必要な知識および技能を有している。 (4) 食品香粧分野の最新動向および研究に強い関心を持ち、多様な人々と協働して学ぶことができる。</p>
<p>産業経営学</p>	<p>産業経営学専攻博士前期課程は、社会科学分野から地域資源を活用して多様な発展を遂げている地域生物産業を担う企業や関連産業・地域企業および地域社会の持続的発展とそのための問題解決ができる人材を養成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 経営学、会計学、マーケティングならびに経済学、そして情報処理・管理学、農学等の社会科学的分野における四年制大学卒業程度の学力を有している。 (2) 地域生物産業や地域社会に関連する研究テーマに積極的かつ意欲的に研究に取り組む強い意欲を有している。 (3) 健全な人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有し、協働して課題解決にあたることができる。 (4) 本学の教育理念である実学主義のもと、高度な専門知識を修得し、将来、地域や組織の持続的な発展に貢献したいという強い意志を有している。</p>

入学者受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)博士後期課程

【大学院 アドミッションポリシー】	
<p>東京農業大学大学院は、農学あるいは生物産業学に対する深い理解の上に、研究者として協調性を有しながらも自立し、専門分野における基礎的または高度な問題を自立的に解決できる人材を育成します。このために、本大学院では次のような学生を求めています。</p>	
博士後期課程	<p>(1) 希望する専攻における大学院博士前期課程修了程度の学力を有している。</p> <p>(2) 国内外における科学・技術を理解し、成果を発信しうる複数言語の語学力を有している。</p> <p>(3) 研究者あるいは高度な専門家として活躍しうる人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。</p> <p>(4) 研究者・教育者あるいは高度な専門家として、国際的にも社会に貢献しようとする広い視野、明確な問題意識、強い意欲を有している。</p>
【研究科 アドミッションポリシー】	
農学研究科	<p>農学研究科博士後期課程は、農学に対する深い理解の上に、研究者として協調性を有しながらも自立し、専門分野における高度な問題解決能力を有する人材を育成します。そのため、本研究科では次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 希望する専攻分野にかかわる大学院博士前期課程・修士課程修了程度の学力を有している。</p> <p>(2) 国内外において研究活動を実施し、成果を発信しうる複数言語の語学力を有している。</p> <p>(3) 研究者、教育者あるいは高度な専門家として活躍しうる人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。</p> <p>(4) 研究者、教育者あるいは高度な専門家として地域であるいは国際的に社会に貢献しようとする広い視野、明確な問題意識、強い意欲を有している。</p>
応用生物科学研究科	<p>応用生物科学研究科博士後期課程は、農学を基盤とした応用生物科学に対する深い理解の上に、研究者として協調性を有しながらも自立し、専門分野における高度な問題解決能力を有する人材を育成します。そのため、本研究科では次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 希望する専攻分野にかかわる大学院博士前期課程・修士課程修了程度の学力を有している。</p> <p>(2) 国内外において研究活動を実施し、成果を発信しうる複数言語の語学力を有している。</p> <p>(3) 研究者、教育者あるいは高度な専門家として活躍しうる人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。</p> <p>(4) 研究者、教育者あるいは高度な専門家として地域であるいは国際的に社会に貢献しようとする広い視野、明確な問題意識、強い意欲を有している。</p>
生命科学研究所	<p>生命科学研究所博士後期課程は、農学を基盤とした生命科学に対する深い理解の上に、研究者として協調性を有しながらも自立し、専門分野における高度な問題解決能力を有する人材を育成します。そのため、本研究科では次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 希望する専攻分野にかかわる大学院博士前期課程修了程度の学力を有している。</p> <p>(2) 国内外において研究活動を実施し、成果を発信しうる外国語能力を有している。</p> <p>(3) 研究者、教育者など高度専門職者として活躍しうる人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。</p> <p>(4) 研究者、教育者など高度専門職者として地域であるいは国際的に社会に貢献しようとする広い視野、明確な問題意識、強い意欲を有している。</p>
地域環境科学研究科	<p>地域環境科学研究科博士後期課程は、生活環境、地域環境、地球環境に関する高度専門知識と理解力を有し、様々な環境問題の具体的な解決方法に関して、また持続可能な地域づくりの推進に関わる高度専門研究者の養成を目指している。そのため、次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 環境問題、環境共生型・循環型地域づくり、地球環境と生物資源の保全・利用・管理に関する修士課程又は専門職学位課程修了程度の知識を有している。</p> <p>(2) 環境に関する諸問題の研究に必要な探究心と柔軟な思考力を有している。</p> <p>(3) 研究に自らチャレンジする意欲を有している。</p> <p>(4) 他者との協働に必要なコミュニケーション能力や表現力を有している。</p>
国際食料農業科学研究科	<p>国際食料農業科学研究科博士後期課程は、食料農業科学とその知見の現場への適応を通じて国際的視野に立った社会貢献に対する意義を理解し、専門分野における基礎的な問題を自立的に解決できる人材を育成します。そのため、本研究科では次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 食料・農業・環境領域の当該専攻分野における修士課程又は専門職学位課程修了程度の学力を有している。</p> <p>(2) 国内外のフィールドにおける学修や研究活動を可能にする基本的な語学力を有している。</p> <p>(3) 豊かな学びと人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。</p> <p>(4) 当該専攻分野に関する研究に対する強い関心をもち、研究者、教育者あるいは専門家として研究成果を国内及び国際社会に還元し、貢献しようとする広い視野、明確な問題意識及び強い意欲を有している。</p>
生物産業学研究科	<p>生物産業学専攻博士後期課程は、生物資源・自然資源の宝庫であるオホーツク地域での実践的な研究により、自然科学と社会科学に造詣を持ち、研究において国際的なリーダーとなり得る研究者を養成します。そのため、本専攻では、次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 生物産業学の当該専攻における大学院博士前期課程修了程度の学力を有している。</p> <p>(2) 国内外における科学・技術を理解し、成果を発信しうる複数言語の語学力を有している。</p> <p>(3) 研究者、教育者あるいは高度な専門家として活躍しうる人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。</p> <p>(4) 研究者、教育者あるいは高度な専門家として国際的に社会貢献しようとする広い視野、明確な問題意識、強い意欲を有している。</p>

入学者受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)博士後期課程

【専攻 アドミッションポリシー】	
農学	<p>農学専攻博士後期課程は、農学に関する専門的な学識と基礎的な研究能力を有し、将来、農学における専門職業人・研究者として活躍し、地域社会や国際社会に貢献しようとする人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 農学全般および各専門分野にかかわる大学院博士前期課程修了程度の学力を有している。</p> <p>(2) 国内外において研究活動を実施、成果を発信できる複数言語の語学力を有している。</p> <p>(3) 研究者、教育者あるいは高度な専門技術者として活躍しようとする人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。</p> <p>(4) 農学全般およびそれぞれの専門分野において、研究者、教育者あるいは高度な専門技術者として指導性を発揮し、国内外を問わず社会に貢献しようとする明確な問題意識と学修に対する強い意欲を有している。</p>
動物科学	<p>動物科学専攻博士後期課程は、動物生命・生産科学の本質を理解し、関連する最先端技術と知識を獲得し、様々な問題に対して高度な解決ができる人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 畜産・動物科学分野にかかわる大学院博士前期課程修了程度の学力を有している。</p> <p>(2) 動物や動物関連産業に興味を持ち、生命・生産科学に関するより高次元な専門知識・技能を獲得し、国際的に活躍することに関する強い意欲がある。</p> <p>(3) 科学に対する探求心と自ら行動する意欲を有している。</p> <p>(4) 科学で得た知識をもとに、社会に正しく大きく貢献することに強い意欲がある。</p>
バイオセラピー学	<p>バイオセラピー学専攻博士後期課程では、社会に潜む解決すべき課題を見出し、高度な専門知識と技術に基づいた研究によって立証し、その解決に向けた方策を社会に提言できる自立した研究者または教育者となる人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。</p> <p>(1) バイオセラピー学分野における学修が可能な大学院博士前期課程修了程度の学力を有している。</p> <p>(2) 農学を基盤とした動植物または人の健康や福祉に関する確かな専門知識を有している。</p> <p>(3) バイオセラピー学の学理を追及し、時代を切り拓くための意欲がある。</p> <p>(4) 国際的に活躍できる研究者、高度専門職業人を志している。</p>
農芸化学	<p>農芸化学専攻博士後期課程では、人類の生活に関わる課題に対し、農芸化学を基盤とした高度な専門性を持ち、国際化し多様化する社会情勢の変化に柔軟かつ的確に対応できる幅広い知識と判断力を有した研究者や高度専門職業人たる人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 農芸化学の諸分野における大学院博士前期課程修了程度の学力を有している。</p> <p>(2) 食・健康・環境に関わる研究を推進できる知識と技術を有している。</p> <p>(3) 国内外において研究活動を実施し、成果を発信する語学力を有している。</p> <p>(4) 研究者や高度専門職業人としての活動を可能にするコミュニケーション能力を有している。</p> <p>(5) 農芸化学の諸分野における研究者や高度専門職業人としてリーダーシップを発揮し、独創的な発想と問題解決に取り組む意欲がある。</p>
醸造学	<p>醸造学専攻博士後期課程は、醸造学に対する深い理解の上に、研究者として自立し、専門分野において高度で独創的な研究能力を有する人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 醸造産業をはじめとする微生物利用産業に興味がある。</p> <p>(2) 微生物学的または化学的な研究能力の向上に意欲的であり、微生物や発酵を利用した食品、医薬品、化学工業、環境関連産業等の分野に研究者として携わることを志している。</p> <p>(3) 醸造学に関する高度な専門知識・技術を駆使して、新領域の開拓にチャレンジする意欲がある。</p>
食品安全健康学	<p>食品安全健康学専攻博士後期課程は、生命に直結する「食品の安全性」と「食品の機能性」に興味を持ち、それに関する極めて難解な課題を、必ず論理的かつ科学的に解決するという高い意欲を有し、将来、食品関連などの技術者・研究者・教育者・行政官などとして高度に指導的な立場で社会に貢献したいとする強い意志と国際的な視野をもった人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 「食品の安全性」と「食品の機能性」に対し普段から高い関心を持ち、未解決の難題に対し、自らが課題を発見し、主体となって解決したいという強い意欲を有している。</p> <p>(2) 実験研究に興味があり、自らが主体となってその研究を実施する能力を有し、国際社会に貢献したいという意欲を有している。</p> <p>(3) 主観的思考にとらわれず、実験等により得られた結果などを客観的事実として受け入れることにより、事象を的確かつ冷静に判断し、国際的な場で発表する素養がある。</p>
食品栄養学	<p>食品栄養学専攻博士後期課程は、本学院および本研究科の教育目標に基づき、ヒトの健康維持・増進および疾病予防・改善に向けた食品学および栄養学領域を統合した食品栄養学に関連する確固たる深い専門知識および研究能力を獲得し、食品栄養学周辺領域の人とも協同し、広く国内外でリーダーとして活躍できる人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 食品学や栄養学分野における大学院博士前期課程修了程度の学力を有している。</p> <p>(2) 問題設定および問題解決に向けてのリーダーシップを備えることに強い意欲がある。</p> <p>(3) 国内外に研究成果を発信できる語学力を有し、社会に貢献しようとする強い意欲がある。</p> <p>(4) 高度な専門家として活躍しようとするコミュニケーション能力を有している。</p>

入学者受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)博士後期課程

【専攻 アドミッションポリシー】	
バイオサイエンス	<p>バイオサイエンス専攻博士後期課程では、生命現象の本質に対する深い理解の上に、最先端技術・知識を獲得し、研究者として協調性を有しながらも自立し、生命科学分野における高度な問題解決ができる人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。</p> <p>(1)生命科学分野にかかわる大学院博士前期課程修了程度の学力を有している。 (2)国内外において研究活動を実施し、成果を発信しうる外国語能力を有している。 (3)研究者、教育者など高度専門職者として活躍しうる人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。 (4)生命科学分野における研究者、教育者など高度専門職者としてリーダーシップを発揮し、国際的に社会に貢献しようとする広い視野、明確な問題意識、強い意欲を有している。</p>
林学	<p>林学専攻博士後期課程は、森林・林業・林産業・農山村に関する高度な知識と研究能力、管理能力を持ち、生物多様性の保全や循環型社会の形成に関する問題設定・解決能力及び問題解決に向けてのリーダーシップを備えた人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。</p> <p>(1)林学、林産学などを基礎とし、森林環境保全学、森林資源生産学、森林資源利用学、森林文化情報学などの専門領域において、修士課程又は専門職学位課程修了程度の確かな知識と研究能力を有している。 (2)生物多様性の保全や循環型社会の形成に関する問題設定・解決能力及び問題解決に向けてのリーダーシップを備えることに強い意欲を有している。</p>
農業工学	<p>農業工学専攻博士後期課程は、農業工学に対する深い理解の上に、研究者または高度な技術者として自立し、専門分野において高度で独創的な研究能力を有する人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。</p> <p>(1)地球環境に配慮して、食料生産の基盤づくりに寄与する農業工学に深い興味を有している。 (2)農業工学の専門領域において、修士課程又は専門職学位課程修了程度の高度な知識・技術を有し、持続可能な社会の構築を目指し、地域資源の有効利用と循環型社会の構築に、研究者として、また高度な技術者として、貢献したいという強い意欲を有している。 (3)農業工学に関する高度な専門知識・技術を駆使して、新領域の開拓に挑戦する意欲を有している。</p>
造園学	<p>造園学専攻博士後期課程では、都市から自然地域における快適環境をもたらすための課題解決能力や造園学に関連する高度な学識と研究能力を有し、地域社会や国際社会において研究者、教育者、技術者として活躍、貢献、評価される人材を育成する。本専攻では次のような学生を求めている。</p> <p>(1)造園学及び関係専門分野において、修士課程又は専門職学位課程修了程度の確かな学力を有している。 (2)国内外において十分な研究活動を実施・展開し、その成果を広く社会に発信できる語学・文章・表現力を有している。 (3)研究者、教育者、高度な専門技術者として活躍し、良好な関係性を構築できるコミュニケーション能力を有している。 (4)造園学の専門分野において、研究者、教育者あるいは高度な専門技術者として指導性を発揮し、国内外を問わず社会に貢献しようとする明確な問題意識と強い学修意欲を有している。</p>
国際農業開発学	<p>国際農業開発学専攻博士後期課程では、広範な学問領域を統合する総合的アプローチと実践的で国際的な視野を修得し、農業開発及び国際協力などの分野ならびに国際社会の発展に貢献できる高度な専門家・研究者の養成を目指します。そのため、本専攻では以下のような学生を求めています。</p> <p>(1)国内外の農業開発、国際協力、環境問題に興味を持ち、未解決の問題の解決にリーダーシップを発揮して取り組むことに強い意欲を有している。 (2)自然科学と社会科学の両領域にわたる総合的な知識のレベル(修士課程又は専門職学位課程修了程度)と、今後の知識修得への意欲を有している。 (3)異なる文化や社会に適応し、それらの場で十分なコミュニケーションをとることができる素質を有している (4)国際協力の経験や社会人としての経験があり、それらの経験が本専攻の教育目標に合致している。</p>
農業経済学	<p>農業経済学専攻博士後期課程は、農業経済学に対する深い理解の上に、研究者として協調性を有しながらも自立し、専門分野における高度な問題解決ができる人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。</p> <p>(1)専門領域において、修士課程又は専門職学位課程修了程度の知識や研究方法を修得している。 (2)第二言語として英語または日本語のより高度な運用能力を有している。 (3)研究資料を得るためにコミュニケーション能力を有するとともに、それらを緻密に整理できる能力を有している。 (4)食料問題、農業問題、環境問題に強い関心を持ち、社会科学の方法によって率先して問題解決に貢献しようとする強い意欲を有している。</p>
国際アグリビジネス学	<p>国際アグリビジネス学専攻博士後期課程は、アグリビジネス学に対する深い理解の上に、専門分野における複雑な問題を自立的に解決できる人材を育成します。そのため、本専攻では次のような学生を求めています。</p> <p>(1)一定の語学力とアグリビジネス学にかかわる基礎理論及び基本的研究手法を修得している(修士課程又は専門職学位課程修了程度)。 (2)新たな理論の開発やフィールド研究に取り組む意欲を有している。 (3)アグリビジネス学においてグローバルな貢献を目指している。</p>

入学者受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)博士後期課程

【専攻 アドミッションポリシー】

生物産業学	<p>生物産業学専攻博士後期課程は、生物資源・自然資源の宝庫であるオホーツク地域での実践的な研究により、自然科学と社会科学に造詣を持ち、研究において国際的なリーダーとなり得る研究者を養成します。そのため、本専攻では、次のような学生を求めています。</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 生物産業学の当該専攻における大学院博士前期課程修了程度の学力を有している。(2) 国内外における科学・技術を理解し、成果を発信しうる複数言語の語学力を有している。(3) 研究者、教育者あるいは高度な専門家として活躍しうる人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有している。(4) 研究者、教育者あるいは高度な専門家として国際的に社会貢献しようとする広い視野、明確な問題意識、強い意欲を有している。
--------------	--